

風水害（土砂災害）から命を守るために…

（志布志市中学生用）

自宅付近のマップを
印刷して
貼付しましょう。

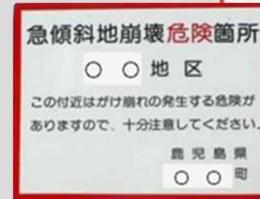
自宅に印刷機がない人は、スマホでも印刷できます。

<http://www.excite.co.jp/news/article/E1531824527041/>

自宅と避難所の位置
を確認しましょう。

警戒レベル ※絶対的判断基準ではありません。

警戒レベル	とるべき行動	避難情報等
5	命を守る最善な行動	災害発生情報
4	避難	避難指示(緊急) 避難勧告
3	高齢者・障がい者 乳幼児は避難	高齢者等避難開始 避難準備
2	避難行動の確認	注意報
1	災害への心構えを高める	警報級の可能性



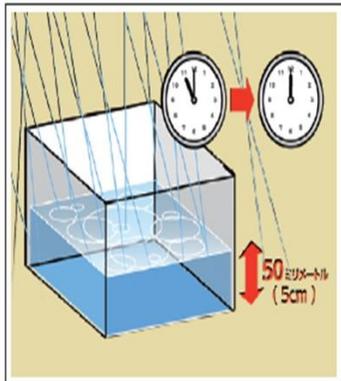
大雨などの時は、左のような警戒レベルが出されます。
しかし、**住んでいる場所や時間で避難のタイミングが違います。**
早めの判断と行動を！！

周囲の気象・防災情報を把握しよう!!

避難の判断基準...自分の家では？

- 家のある区域が、土砂災害警戒区域内だったり、付近に危険箇所指定されている場所があったりしませんか？(各自治体のハザードマップ参照)
- 川の堤防が決壊した場合、浸水したり避難できなくなるような、低い場所ではありませんか？(自宅の位置情報は平常時に把握しておく)
- 河川の水位が異常に高まったり、大雨で側溝から水が大量にあふれ出したりしていませんか？(河川水位情報にも注意！)
- 災害を知らせるエリアメールや市町村から土砂災害警戒情報、避難勧告、避難指示が出ていませんか？(情報へのアンテナを高くしましょう！)
- 家が山並みに続く土地にあったり、土石流が流れてくる谷間の地形にあったりしませんか？(土石流だけでなく、地滑りにも注意が必要！)
- **避難所**に行くのと**自宅の2階**に避難するのでは、**どちらが安全**ですか？

天気予報でよく聞く、「50ミリの雨」「30メートルの風」って実際どのくらい？



「1時間に50ミリの雨」というのは、雨水が別の場所に流れず、そのままたまる状態で、「1時間に雨水が50ミリメートルの高さまでたまる」規模の雨です。

「たった50ミリ」と思われるかもしれませんが、1平方メートルあたり50リットルになります。傘をひらいたときの面積が概ね1平方メートルなので、1時間傘をさしていると、傘には牛乳パック50本分の雨が当たることになります。

まわりの雨水があつまると・・・

1時間雨量 (mm)	雨の強さ (予報用語)	人の受けるイメージ	平均風速 (m/s)	風の強さ (予報用語)
20～30	強い雨	どしゃ降り	20～25	非常に強い風
30～50	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る。	25～30	



避難は、住んでいる場所や時間で避難のタイミングが違います。

右のQRコードで情報を集めよう。

- 自分の住んでいる地域を調べよう。 → 1 へ
- 気象庁の警報を調べよう。 → 2 へ
- 志布志市の現在の雨量を調べよう。 → 3 へ
- 過去6時間の危険度を調べよう。 → 4 へ
- 志布志市の避難場所を調べよう。 → 5 へ
- 志布志市の情報を受け取ろう。 → 6 へ

1

危険区域マップ

2

気象台

3

大雨警報

4

危険度分布

5

避難場所

6

防災情報

鹿児島地方気象台のホームページには、たくさんの情報があります。どんな情報があるのか、普段から確認しましょう。

気象庁発行リーフレット「雨と風」より引用